



平尾中学校で引き渡し訓練 緊急時を想定して

5月11日、平尾中学校（有馬賢一校長・33人）で引き渡し訓練がありました。この訓練は、風水害などの災害時や不審者が校内に侵入したなどの緊急時に、生徒のみの下校では危険が伴う場合を想定して実施されました。

PTA会長の谷尾卓也さんは「平尾中学校で初めての引き渡し訓練は関係者のおかげでスムーズにできました。子どもたちの安全確保に努め地域との連携を取り、命を守るため積極的に取り組んでいきたい」と話しました。



交通安全「ジャガイモ作戦」 思いやりの運転を

5月3日、役場指江支所駐車場で交通安全「ジャガイモ作戦」が5年ぶりに行われ、阿久根地区交通安全協会会長島支部会員や長島ライオンズクラブ、阿久根警察署の署員など約20人が参加しました。作戦には、約100^キ、130袋のジャガイモを用意。国道389号を通る車のドライバーに交通安全のチラシとジャガイモが手渡され、交通事故防止を呼び掛けました。

ゴールデンウィーク期間中のため、県外ナンバーが多く、交通安全の呼び掛けと併せて町の特産品PRにもつながりました。



鷹巣中が職場体験学習 将来の選択に役立つよう

5月21日から23日、鷹巣中学校（脇岡博史校長・89人）で職場体験学習があり、働くことの意義や職業に対する意識を高め、職業選択能力や仕事への理解を養うことを目的に3年生36人が体験しました。

23日は、建設業協会出水支部の協力により、薄井漁港水産流通基盤（特定）整備工事と風力発電所解体工事（指江）を見学後、学校に戻り校庭で測量体験（写真）を行いました。永岡柊凛さんは、「学校で習う数学が測量に必要と知り、勉強の必要性を改めて感じた」と話しました。



獅子島小学校でヒラメの放流 大きく育ってね

5月14日、獅子島小学校（川南泰志校長・55人）が東町漁協青壮年部（山下泰士部長）の協力でヒラメの稚魚を片側湾で放流しました。児童らの手からやさしく放たれた約7^キの稚魚300匹は、獅子島の海へ元気に泳いでいきました。

同部幣串地区代表の千葉麻生さんは「みんなの身近にある海に興味を持って、たくさん調べて勉強しよう」と児童らに呼び掛け、中橋玲音さん（4年）は「ヒラメがぶにぶにでかわいい。大きく育ってほしい」と笑顔で話しました。